

文学部フランス語フランス文学コース
仏文ライブ vol. 1

フランス名作文学

の 愛すべき ボンクラたち

『谷間の百合』

『赤と黒』

『女の一生』

『悪の華』

『レ・ミゼラブル』

『ボヴァリー夫人』

『ラ・ボエーム』

『悲しみよこんにちは』

などなど……

題名しか知らなかった あの名作を開くと
そこには〈おれたち〉がいた！

アンシャン・レジム

19世紀、旧体制の瓦解とともに〈近代〉が幕を開けた。
激変する時代の只中で、いまだ何者にもなれない擬かしさを抱えながら、
若者たちは笑い、悩み、歌い、酔い、泣き、愛した——
それってまるで〈おれたち〉じゃないか！

そんな、生きるのが少し不器用な、フランスの愛すべきボンクラたちを、
小説から、詩から、映画から、みなさんにご紹介します。

弁士

TSUJIMURA Eiju

辻村 永樹

5月25日（金）16：45より 31号館3階307教室

お気軽にご来聴ください。HPもあります（「早稲田仏文」で検索！）